

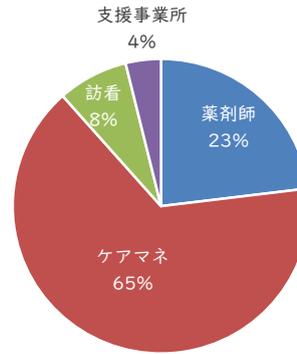
医療機関(外来)と地域の情報連携シートに関するアンケート調査 アンケート 結果

(R2.10~11月実施)

アンケート回答数： 78名

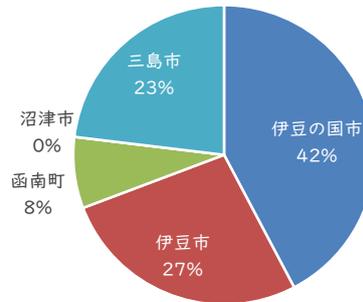
職種：

薬剤師	18
ケアマネジャー・地域包括	51
訪問看護師	6
相談支援事業所	3
合計	78



事業所所在地：

伊豆市	21
伊豆の国市	33
函南町	6
三島市	18
沼津市	0
合計	78

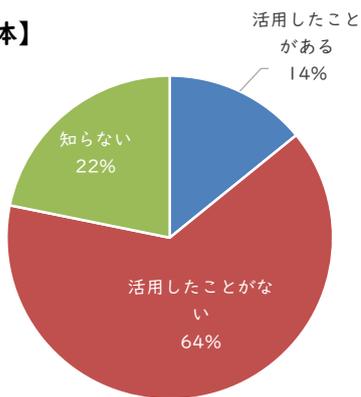


設問1. 「医療機関(外来)と地域の情報連携シート」の活用状況について

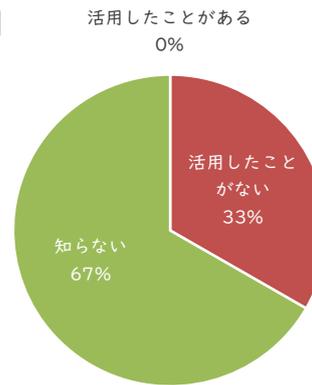
(1) あなたは「医療機関(外来)と地域の情報連携シート」を知っていますか？

①知っているし活用している(活用したことがある)	11
②知っているが活用したことがない	50
③知らない	17

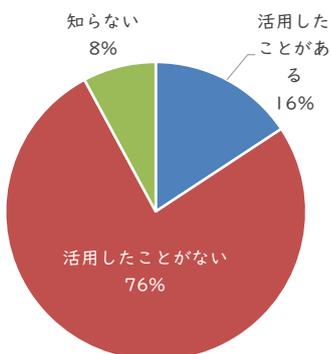
【全体】



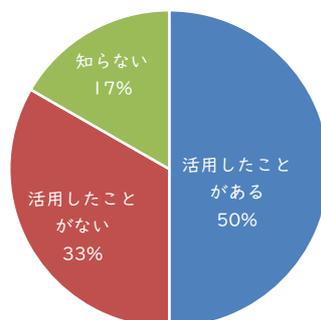
【薬剤師】



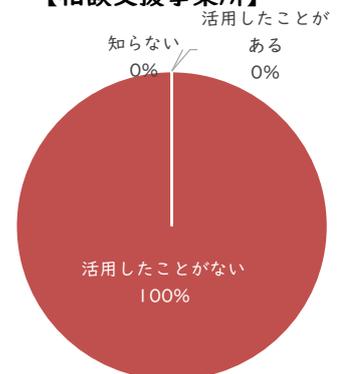
【ケアマネジャー・地域包括】



【訪問看護師】



【相談支援事業所】



(2) (1) で①と回答された方へお伺いします。どのような場面で活用されましたか？

【ケアマネジャー・地域包括】

- 一人暮らしで本人が自分の事を細かく病院側に伝えられない思った時、活用した。
- 服薬指導について在宅での情報提供とお願い。
- 近況の報告、受診時の情報提供、本人、家族の希望、服薬管理についてなど。
- 認知症状が悪化している利用者の内服薬の相談。
- 医師にデイケアを利用する時の血圧低下に対する注意事項を伺う時に使用しました。(ケアプラン作成の為の依頼状でお願いしたいと病院側から言われ、用途を理解していませんでした)
- 外来より、心配な事があるとのことで連絡を頂きました。
- メンタル科に受診され、本人には言いにくい事を先生まで伝えて頂く為に活用しました。
- かかりつけ医に対して、ケアプランに関わる相談(医療系サービスの導入や継続について、区分変更の是非について 他)
- 入院時の連携
- 退院時の連携

【訪問看護師】

- 利用者(患者)の状態報告
- 薬についての質問
- 自宅での創処置の状況、指導内容
- 服薬状況、介護状況の報告、伝達
- Dr.への報告、上申

◇ 当シートを活用する際に困った事はありましたか？また、活用して良かった点・悪かった点についてお聞かせ下さい。

【ケアマネジャー・地域包括】

- 家族状況について、伝える事ができ、入院後の手続きがスムーズにできた。
- ケアプラン作成のための依頼状との使いわけで迷う事がある。
- 書類係を介した書類のやりとりよりもスピーディでよかった。
- 病院IDを聞きづらい事もあります。
- 良かった点:病院に利用者の状況、家庭環境を少しでも理解していただけたこと。
- 悪かった点:病院ID番号が不明で苦勞した。
- 返答を頂き、とても助かりました。すぐ頂けた事で、各事業所で情報共有する事が出来ました。用途をしっかりと理解すると、とてもよいツールになると思いました。
- 文章にしてあるので、細かい事まで良くわかりました。
- 他の科にもかかっていたので、他の先生にも同じ内容をお伝えできて、看護師さんも忙しく中々TEL対応困難だったので、文章のやり取りで、確実に伝える事が出来て連携がとれました。
- かかりつけ医との連携シート(三島市・沼津市)はかなり定着している為、先生方も迅速に対応してくださっている。
- 退院時の連携シート(退院サマリー)は専門用語が多用されていることがあり、調べてもなかなか理解し難い場合がある。
- 手書きの場合、判別が難しい場合がある。

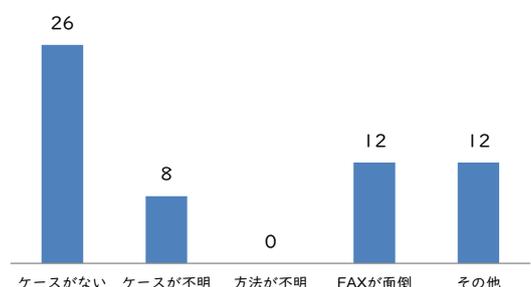
【訪問看護師】

- (良) 今後の連携方法の手段が1つ増えた。相手側の仕事の状況を心配する事なく連携がとれる。
- (悪) 質問したことに対する返答が、こちらの気持ちと違うことがあった。
- 以前Drへの報告、上申事項をシートで連絡した際に、Drへの内容は別の方法でと、返答があった。(外来ナースより)
- 回答をFAXしたが、院内で担当者に届くまでに時間を要したようであり、催促の連絡があった。

(3) (1) で②と回答された方へお伺いします。

「活用することがない」理由にはどんな事がありますか？(複数回答)

活用するケースがない	26
どのようなケースに活用していいのかわからない	8
活用する方法がわからない	0
FAXでは面倒で、電話で問い合わせをしてしまう	12
その他	12



◇「その他」の理由

【ケアマネジャー・地域包括】

- 受診時に同行し主治医及び関係者と話す。
- 医師への依頼が多く自社のFAX用紙を活用している。
- 活用したかったが、緊急だったので直接、電話になってしまった。
- 多忙な外来に連携シートがいつ届くのか、目にするのか不明のため。
- FAXができないため郵送または直接届ける方法となるため時間がかかる（電話で問い合わせる）
- 事業所の方針でFAXを使用できない。
- 少し返事に時間を要する気がして活用に至っていません。
- 三島市医師会、三島市介護支援専門員連絡協議会の医師と介護支援専門員の連絡票を使用しています。
- 活用のタイミングはあったが、シートのことを忘れてしまっていた。
- 貴院に受診されている方がいない。
- 他事業所ケアマネからうまく活用できないと聞き躊躇している。
- 別に記載

設問2. 当シートについて改善した方がいい点がありましたら、教えてください。

【薬剤師】

- 活用したことがないので、分かりませんが(内容)のスペースがせまい様に思います。
- 今まで当シートのことを知らず活用しておりませんでした。内容を拝見させていただき、とても有用なものと感じました。これから活用していきたいと考えております。
- そもその周知不足ではないかと思われます。
- 利用していないので、特になし。以前、お知らせを頂いたかもしれませんが、記憶になく情報連携シートを見ることもありませんでした。

【ケアマネジャー・地域包括】

- 添付ファイルで、メールで送れると良い。
- 特にありませんが、県医師会の「シズケア・かけはし」との利用目的の違いはありますか？見た限り同じような内容ですが、順天堂病院の方ではこちらを推奨しているということでしょうか。
- FAXを送信するまでの手続きが多い。
- 病院ID番号は、本人でなくては、わからないので、確認できない事もあるかもしれないです。
- 静岡県で統一したシートがあれば良いと思います。市町村独自の連携シートであれば、ホームページのわかりやすい所に掲載していただきたいです。
- メールでのやり取りが可能になると助かります。(FAXの場合プリンターによって字が見えづらいことがある為)
- まだシートを使用した事が無いので不明。今後、機会があれば使用したい。
- ID番号の記載が必要なことは理解できますが、どうしてもわからない場合もあります。
- 使用したことがないのでわからない。
- 元のエクセルもしくはワードの連携シートがHPなどでDL出来るのであれば使用することもあると思う。データで残しているのに、手書きでしか記入が出来ないのでは使い勝手が悪い。
- 活用するケースはまだないのですが、とても良い仕組みだと思います。

【訪問看護師】

- 内容記入欄を拡大してほしいです。
- 相手に依頼する場合、回答期限などを明記した方が円滑に連携できると思われる。

設問3. お互いが「連携をする」という部分で、感じている課題やその他、ご意見をお聞かせください。

【薬剤師】

- 情報連携シートが出来る前は、電話にて外来で対応していただいたり、在宅の報告書にて次回受診時のお願いをしていましたが、全く対応していただけませんでした。今後、このシートの活用効果を期待します。伊豆医療センターでもこの様な情報連携があれば助かります。
- 「医療機関(外来)と地域の情報連携シート」について、大変恐縮ながら知りませんでした。今後は、このツールの活用法を学び、少しずつ活用出来ればと考えております。
- 薬剤師の関与がまだ少ない。残薬を減らす事、服薬コンプライアンス向上のため、より連携を深める事が重要。

【ケアマネジャー・地域包括】

- 今の時期や今後を考えるとFAXから進んでSNSでのやり取りができると良いと思います。
- 窓口がしっかり一つであると良いなど。
- 急性期病院として順天堂静岡病院は、入院情報、退院方向等を適宜連絡してくれ分かりやすい。入院時基本情報を持参する様に、NSからの連絡「40分かかると伝えても持参に変更なく持参、担当NS対応により変わる。救急外来医師からの情報伝達時、FAXで可能だった。対応が早いです。
- 片想いでうまくいかず、同じ温度で課題を共有できる様になれると良いと思う。
- いつもいいにに対応していただいて大変感謝します。
- 数年前と比べると病院側から入院時連絡をいただけるようになり連携がとりやすくなったと思いますが病院内で棟が変わったあと連絡が途絶える事がたびたびあるので、窓口が明確だと連携はとりやすくなると思います。
- 順天内の他科連携が難しい。例えば、脳外と循環などの院内の科同士で情報が共有されていないと感じる。
- 連携シートを活用することで連携しやすくなった。
- 電話が一番早く済んでしまうので、なかなか定着しにくいツールかと思いますが、お互いに「これを利用しよう」と意識して活用していったらよいと思います。
- しっかりしている利用者さんは、口答で外来の様子を話をしてくれるので助かることもある。
- スピードが要求される場面も多く、直接担当看護師に連絡を取った方が早い。(TELで)
- 高齢者の課題について共通認識、情報共有の方法、お互いの業務、役割を知る研修会をくり返し「顔が見える」「相談ができる」関係づくりが必要だと思います。
- お互いの業務内容を理解することが大切だと思う。
- 情報共有し、利用者に寄与するという意味で効果が高いが、緊急を要する時には電話で直接連絡の方が早い。
- 個人情報の取り扱いがあるため、書類を直接持参することもあるが、コロナ禍で不安なこともある。
- コロナウイルス感染防止の為、情報提供(入院時)をFAXで行うことが多くなった。
- 病院の窓口が多く(受付・医療連携室・病棟看護師)どこに最初に連絡をとっていいのか分からなくなる時がある。
- 個人情報の問題もあり、FAXでは利用しづらく、電話での対応が多いが、その場合、連絡可能時間の問題がある。
- お互いの制度に対する理解。
- お互いの制度、サービスについての知識認識不足による理解の相違が起きる事がある為、それぞれが共通認識を持つ事が必要だと感じる。
- 困った事がでた場合も情報連携シートがあるおかげでいつでも連絡ができるという安心感を持ちました。(ケアマネ)
- 病院と在宅・医療と介護では、視点や考え方に相違が出そうなので、しっかり擦り合わせていく事で、良い支援に繋がると感じています。
- 連携に時間がかかるとタイムリーに対応できないことがある。
- 受診予定の家族とスムーズに連携がとれない。相談が必要なケースが少ない。相談があっても家族にお願いして治まるケースが多い。
- 必要があればシートを使用して連携させてもらいたいと思います。個別のシートがあることは、とても便利だと思います。先生や看護師に問い合わせることが、なかなかできないので、シートをうまく使えば連携もうまくできるのではないかと思います。
- 現在、順天堂病院との連絡(TEL)がなかなかとりにくいですが、通院・入院されている利用者も多く、不安を感じているようです。
- 先生の中にはまだ介護保険の理解が薄く「連携する」にはほど遠いと感じることが時々あります。医師に確認しないと進めない業務がある等々、先生にも理解して頂きたいです。
- 開業医の先生との連携はとり易いが、総合病院となると連携室の動きや医師が非常勤の場合など非常に時間がかかってしまう。
- ケアマネが知る患者の情報と医療機関の情報の共有が難しい。
- 最近は、病院の敷居が低くなってきているように感じます。
- 介護職からの発信はあるが、医療職からの発信が少ない。(変更点、ケアで注意すべき点、要観察の部分等、介護と医療の壁)
- 連携を取る事が重要なのは誰もわかっているのだから、連携を取りやすくするためのツールは、使いやすくないといけない。病院や連携室とのやり取りが苦手と感じるケアマネも多い中で、さらに市町村で連携シートが違ったりすることは些細な事だが連携のしづらさを生むのでは？
- 入院や退院の時に、家の様子等を伝えたり、病院に入院中の様子、リハビリの様子など聞きたい時に、ポイントを絞って伝える事が難しいです。
- 病院関係者の「連携する」という関係機関の「連携する」の意味は共通言語になっているのでしょうか？双方の「連携」の定義、お互いの業務範囲の理解、期待することへの擦り合わせ等必要かもしれません。現在、コロナ禍で病院から呼ばれることは少ないですが、カンファレンス時等で病院から呼んでいただいた際には、担当ケアマネを何の目的で呼ぶのか？わからないで、当たり前のように呼びつける病棟患者担当になった看護師さんは相変わらずいます。病院の体制上、現場の看護師さん達が看護業務をしながらケアマネジメントもすることは気の毒だと思いますが、結果的にカンファレンスに参加しても、情報共有のみで終了するケースがあるので、目的を確認して出欠席の判断をさせていただいています。(情報共有のみや転院施設入所するのであれば電話連絡等で十分です。)病院の加算の目的でしょうか？状態変化等により在宅退院後のサービス調整が必要な場合は、ぜひケアマネをお呼びください。また本人の意向確認などマネジメント上必要があれば、こちらからも面会等ご相談させていただきます。この先、オンラインでのWEB会議等導入できればお互いの業務改善にもつながるかもしれません。
- 大きな病院のため、どこに繋がれば、情報が手に入るのかわからない。日によって担当が変わる。

【訪問看護師】

- 医療機関は、なかなか患者さんの自宅の状況が把握できず、病状改善に集中した指導になりやすいため、現状にそぐわない状況がある。患者の状況の情報共有がもっとできる機会があればいいと思います。
- 某病院の病棟の担当看護師からカンファレンスをやるので来て欲しいとの一方的な依頼があるが、目的がわからず電話での内容で十分なこともあるが、何故かカンファレンスに出席を求めてくることが多々あり困ることがある。
- 患者の病状等の情報をいただくことができ、今後の支援に生かすことができた。

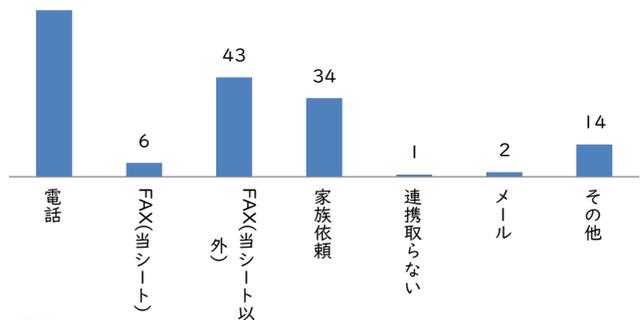
【相談支援事業所】

- 個人情報保護の部分でいうと難しいかもしれませんが、同時に他機関とやり取りができると時間的なズレやニュアンスのズレが出ず同じ情報が共有できていいと思います。
- 関係者が多い時の連絡や情報収集に抜けや漏れがないか。きちんと情報提供、共有ができていくかどうか。
- 入所施設のため、活用するケースがほとんどありませんが、今回のコロナで、「シートがあって良かった、助かった」というケースも少なかったのでは

設問4. 日ごろ、医療機関とどのようなツールで連携をとっていますか？（複数回答）

電話	72
FAX(当シートにて)	6
FAX(当シート以外の様式)	43
患者家族へ依頼	34
連携を取っていない	1
メール	2
その他	14

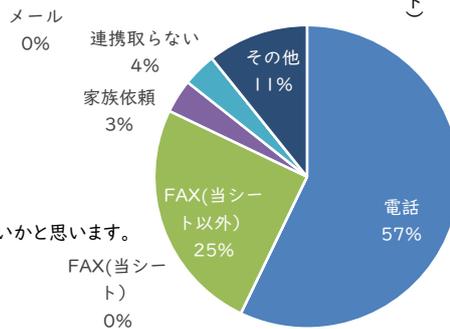
【全体】



◇その他（記述）

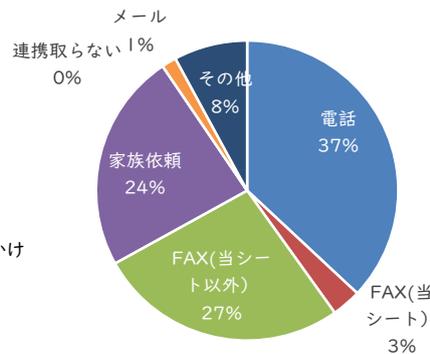
【薬剤師】

- 面会、受診同行
- 可能な場合直接出向く。
- 今後はやはり、IT・デジタルでの対応がいいかと思います。



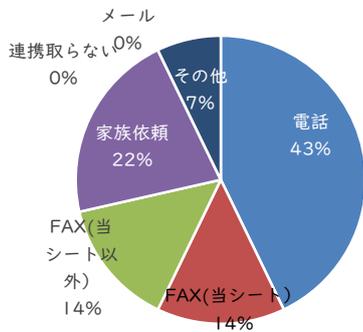
【ケアマネジャー・地域包括】

- 受付へ持ち込む、郵送。
- 情報共有する場合、郵送している。
- 直接持参
- ケアプラン作成の為の依頼状
- 直接訪問
- 三島市介護支援専門員連絡協議会の様式
- 受診同行
- 同行（受診時）、カンファレンス等HPからの声かけ
- 入退院時カンファレンス参加
- ipadのiMessageアプリを活用



【訪問看護師】

- 訪問看護報告書



【相談支援事業所】

